

国指定

所在地：畑市

もくぞうやくしによらいざぞう

木造薬師如来坐像

西光寺の本尊である薬師如来坐像は、左膝上の掌^{たごころ}に薬壺を乗せ、右掌を前方に向けて立たせ、左足を外に結跏趺坐^{けっかふざ}する形をとる。大きい髪部^{はつ}、鑄立たせた眉^{しのぎ}、顎を突き出したように見せる頭部の深い奥行に特色があり、膝の厚みが充分にとってあって、如何にも一木彫像らしい力強さを感じられる。カツラ材を用い、背面より内割りを行って、肩や背中など三段にわたって蓋板を被せている。眉、目を除き彩色は失われ、全て素地を露わしている。

平安時代。像高157.5cm。

